

(1) 県全体の農作物の被害状況について

むらづくり課

- 令和6年度の野生鳥獣による農作物被害額は、**6億8,249万円**で前年度より**約1億4,500万円増加**(前年度比+27%)している。(図1、表1)
- 前年度と比べ、**イノシシ、カモ類、ヒヨドリ**による被害額が**約1億5,000万円増加**し、**シカ、サル**などで**約1,600万円減少**している。(図1、表1)
- 鳥獣種別の被害額は、イノシシが全体の約51%、次いでヒヨドリが約12%、カモ類が約10%を占めている。(図2)
- 作物別では、果樹の被害額が全体の約36%、野菜が約30%、米が約24%となっており、前年度と比べ、**野菜、果樹、米の被害額がともに増加**している。(図3)

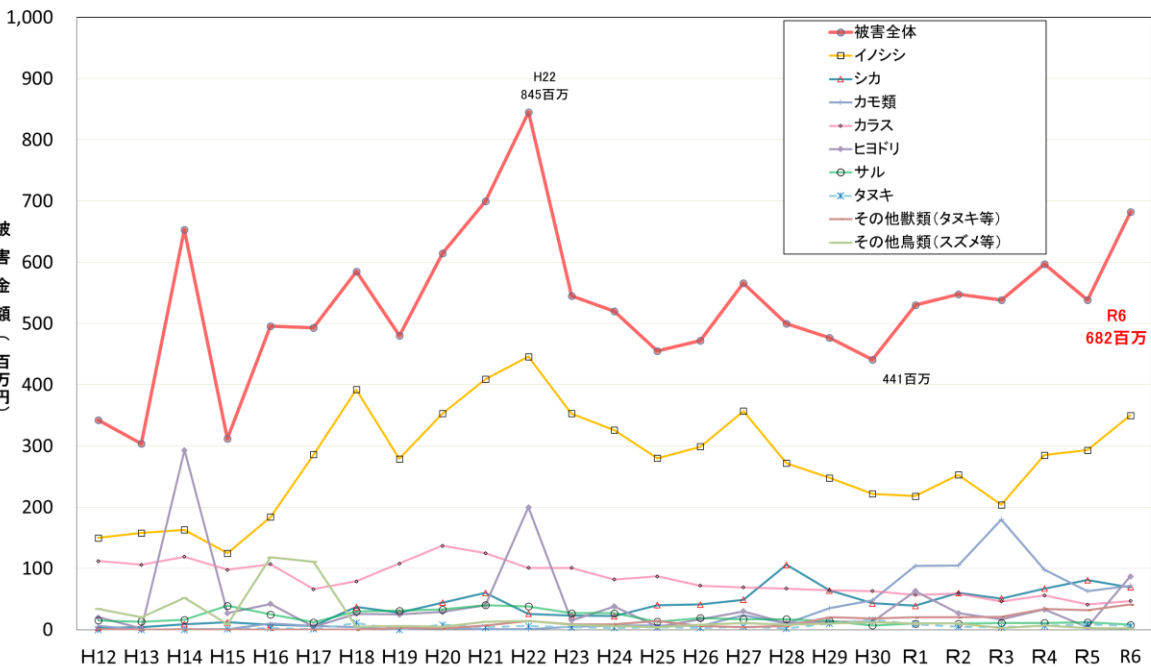


図1 被害額の推移

表1 令和6年度被害額

青文字:減少、赤文字:増加

項目	被害額	対前年度比	前年度からの増減額
全 体	6億8,249万円	127%	約1千 5百万円増加
イノシシ	3億4,958万円	119%	約 5千 7百万円増加
カモ	7,188万円	115%	約 9.3百万円増加
ヒヨドリ	8,744万円	2033%	約 8千 3百万円増加
カラス	4,654万円	113%	約 5百万円増加
シカ	6,939万円	86%	約 1千 1百万円減少
サル	781万円	64%	約 4.4百万円減少
タヌキ	627万円	74%	約 2.3百万円減少
その他獣類 (タヌキ等)	4,117万円	127%	約 8.7百万円増加
その他鳥類 (バン等)	242万円	86%	約 0.4百万円減少

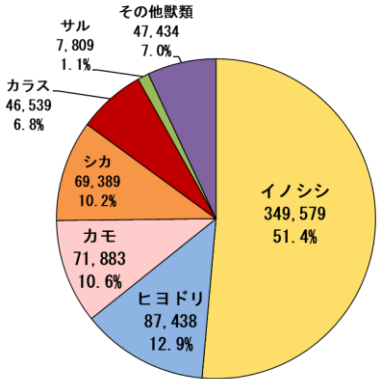


図2 鳥獣種別被害額(千円)

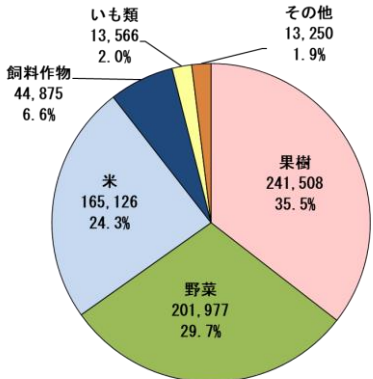


図3 作物別被害額(千円)

(2) 地域別の被害状況について

むらづくり課

- ▶ 地域別では、**八代地域の被害額が県全体の約16%**を占め、**芦北、玉名地域が約12%、宇城地域が約11%**を占めている。
- ▶ 被害額は前年度と比較して、**熊本地域以外の10地域で増加した**。
- ▶ **八代・芦北地域でヒヨドリの被害額が大きく増加した**。また**多くの地域でイノシシの被害額が増加した**。一方、多くの地域では**シカ、サルの被害額は減少した**。

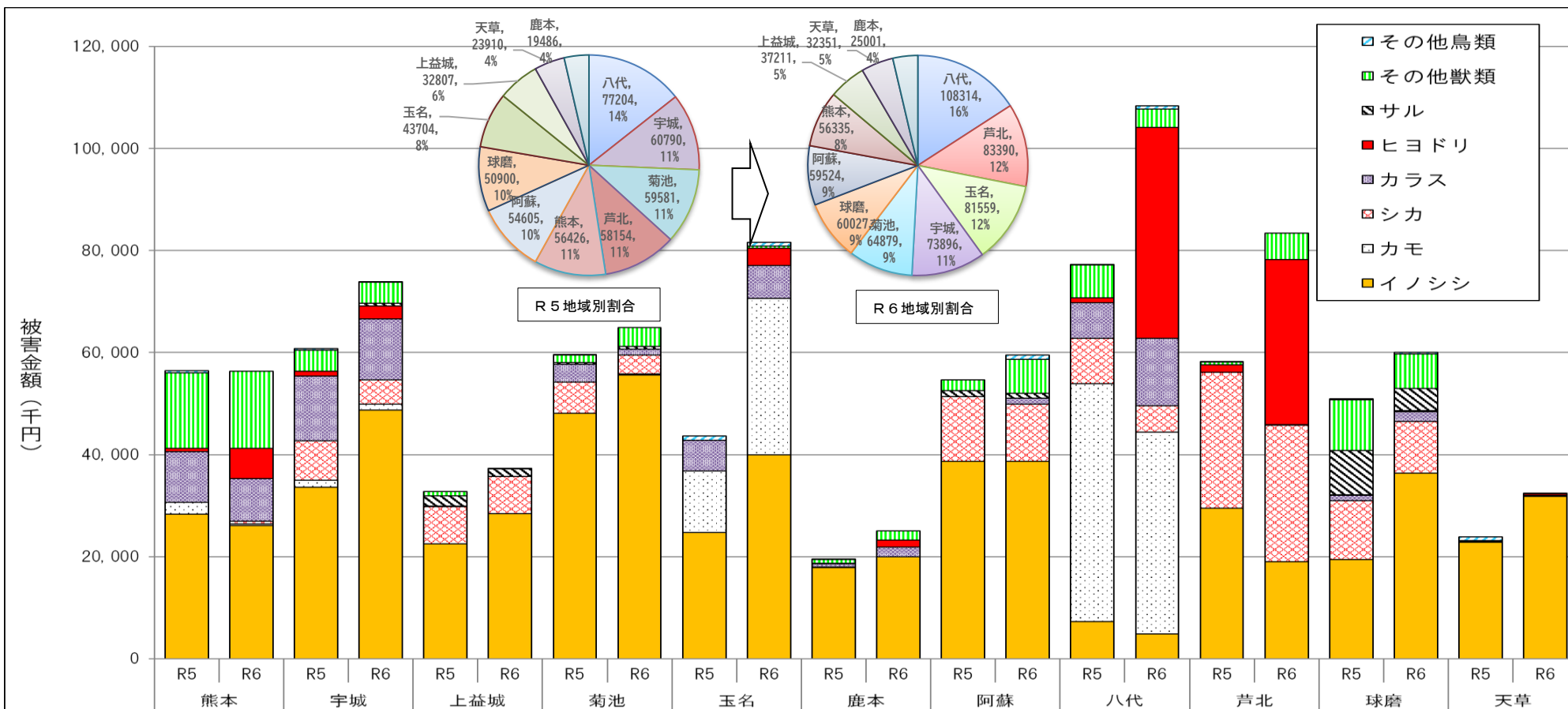


図4 地域別での被害額の推移(令和5年度→令和6年度)